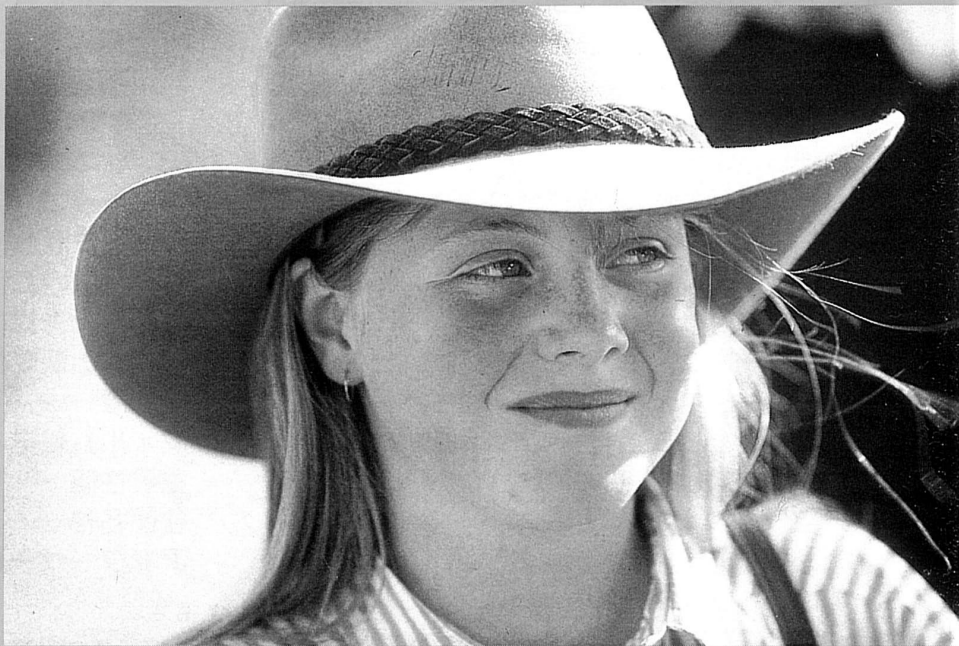


Canon EOS 700QD



使用説明書



日本語版

キヤノン製品をお買い上げいただきありがとうございます。キヤノン EOS700QD は使いやすさを極めた AF一眼レフカメラです。

通常は、プログラムモードで気楽に撮れますが、その他にも①8種の絵文字を選ぶだけで、プロのテクニックのようなよい写真が簡単に撮れるイメージセレクトモード、②自分の意志で深度を決めて撮れる深度優先モードなどを選べるほか、メインダイヤルを裏返すことにより、③シャッター速度を任意に決められるシャッター優先 AE モードもつかえる多機能シンプルカメラです。モードを決めたら、あとは動きや表情、構図などに専念し、シャッターボタンを押すだけです。

また被写体の動きに応じてワンショット AFと*AIサーボが自動的に切り換わるようになっています。また動体予測機能により、カメラに向かってくるまたは遠ざかるものにも正確にピントを合わせ続けます。

* AIサーボ (AI=Artificial Intelligence : 人工知能)

保証書について

同封されている「ご愛用者カード」をお送りください。キヤノン EOS ご愛用者として登録させていただくと同時に、本製品の「国際保証書」をお送りいたします。もし「国際保証書」をお受け取りになりませんと、万一故障した際、保証期間内の無料修理を受けることができませんのでご注意ください。

暗いところや逆光も気にする必要はありません。内蔵ストロボが自動的に発光し、きれいな写真になります。

このカメラを思いのままにお使いいただき、写真の世界を広げてください。

●使用説明書の見方

使用説明書では、EOS700QD にパワーズーム EF 35-80mm のレンズをつけ、内蔵ストロボが自動発光する状態を中心に説明しています。

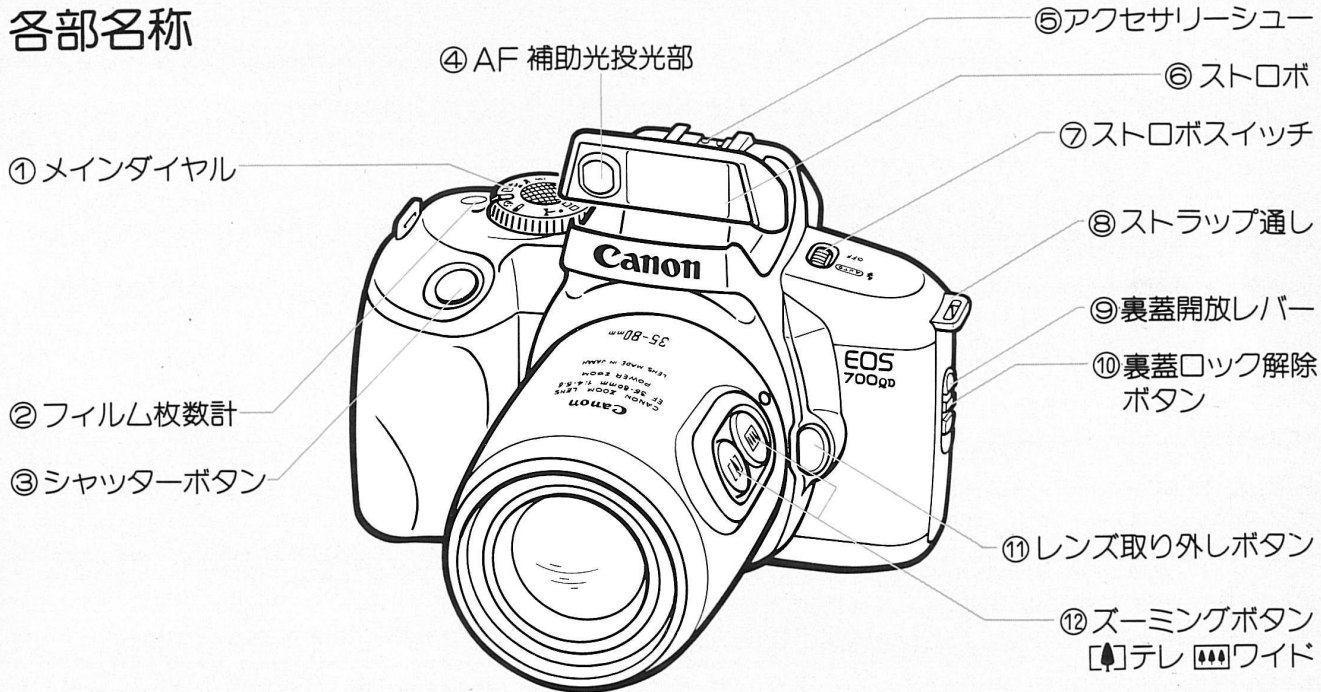
ご使用にあたってはまずカメラを手に取り、よく使用説明書をお読みいただき、十分にご理解くださるようお願い致します。

表紙と裏表紙の各部名称を図のように開いてご覧ください。

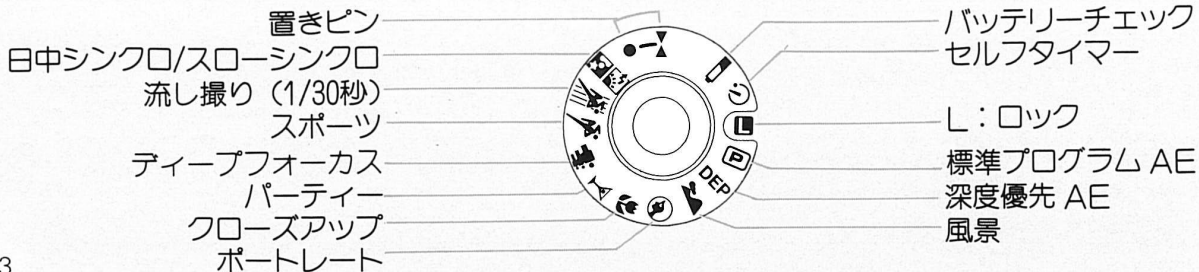


「ご愛用者カード」は必要事項をご記入のうえ、ご投函またはご購入店にお渡しください。尚お送りくださる際、販売店名印がない場合は、お手数ながら店名、住所(または所在地名)、電話番号をお客様にてご記入のうえお送りください。

各部名称



メインダイヤル表面

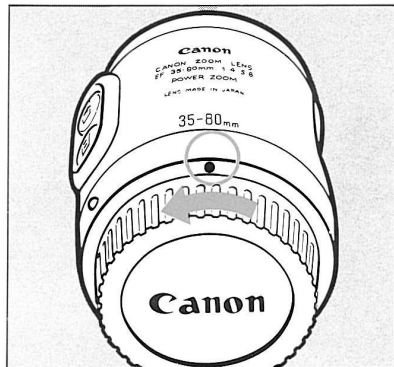


目次

各部名称	3	人の背景をぼかした写真は	35
カメラの準備をしましょう		イメージセレクト (絵文字)	
1. レンズを取り付けます	6	による撮影	36
2. 電池を入れます	8	置きピン撮影	41
電池をチェックします	9	メインダイヤルの表裏交換	42
3. カメラに慣れます	10	シャッター優先 AE	44
4. カメラを正しく構えましょう	11	BULB (長時間露出) 撮影	45
パワーズーム EF35-80mmF4-5.6		2. 写した日を残しておくには	46
レンズについて	12	3. マニュアルフォーカスのある EF レンズを	
5. シャッターボタンの		お使いの場合	49
押し方に慣れましょう	14	4. もっといろいろなチャレンジしたい	50
チャンスを生かして撮りましょう		ストラップ (吊りひも), ケース	52
1. フィルムを入れます	18	主要アクセサリ	52
2. 撮る前に確認しましょう	21	こんなときには (Q & A)	55
3. 写真を撮ります	22	困ったときには	58
オートフォーカスの上手な使い方	25	手入れと保管について	59
オートフォーカスが苦手なもの	27	ご注意	60
暗いところではストロボが自動発光	28	フィルム給送本数 (電池寿命)	61
逆光でもストロボが自動発光	29	主要性能	62
4. 自分が入っている写真は	31	各部名称	65
ちょっと上手に撮りましょう		アフターサービス	65
1. はっきり写る範囲を			
自分で決めて撮るには	33		

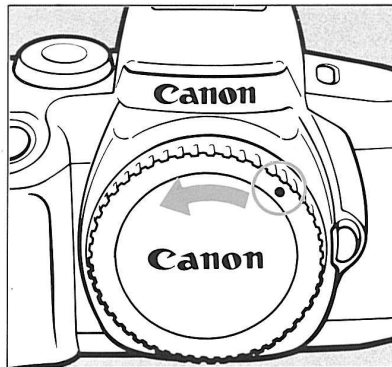
カメラの準備をしましょう

1 レンズを取り付けます



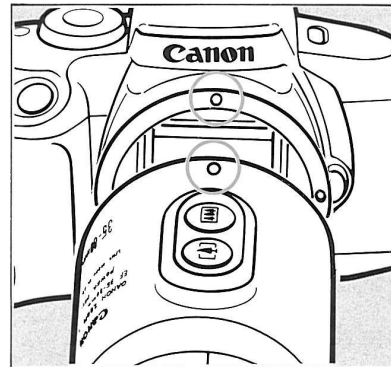
1 レンズの底蓋を矢印の方向に回してはずします。

- ・取り付けるときは、レンズの赤指標と底蓋の○印を合わせ逆方向に回します。



2 カメラのボディキャップを矢印の方向に回してはずします。

- ・取り付けるときは、カメラの○印にキャップの○印を合わせて反対方向に回します。

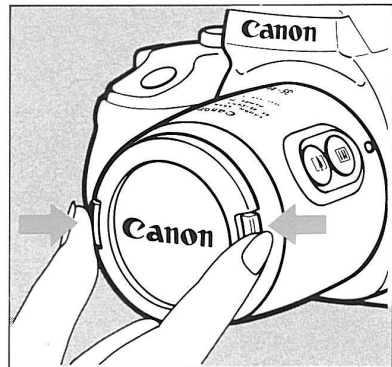


3 レンズの赤指標とカメラの○印を合わせ、レンズを押しつけます。

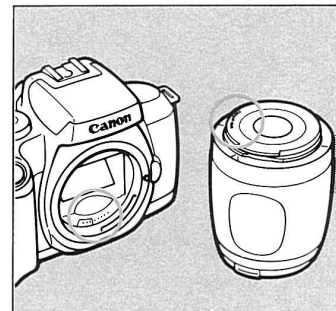


4 レンズを矢印の方向に止まるまで回します。

・レンズをはずすときは、レンズ取り外しボタン⑩を押しながら、取り付けのときと逆方向に回します。



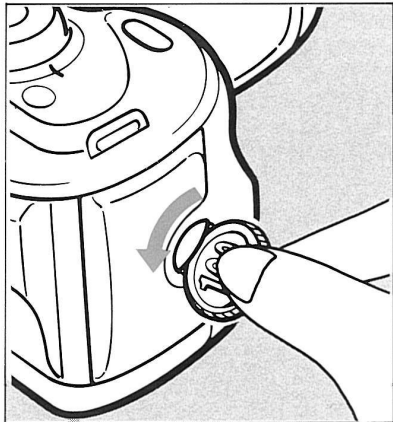
5 レンズキャップを矢印のように押しはずします。



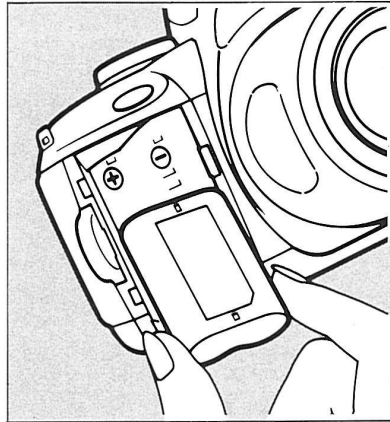
- レンズの置き方…レンズをはずしたときは、図のように電気接点やレンズ面を傷つけないように、カメラの取り付け面を上にして置いてください。
- カメラとレンズの接点と注意…レンズとカメラには、図のように各種の電気接点があります。汚れ、傷、指紋がつくと接触不良や腐食の原因となることがありますので、取り扱いにはご注意ください。

2 電池を入れます

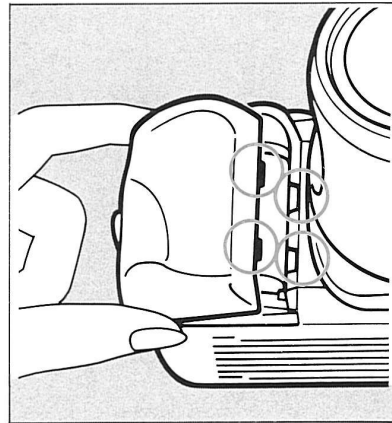
電池はリチウム電池/パック(2CR5,6V)を使います。



1 コインなどを使って、グリップ着脱ねじ[Ⓐ]を矢印の方向に回してゆるめ、グリップをはずします。



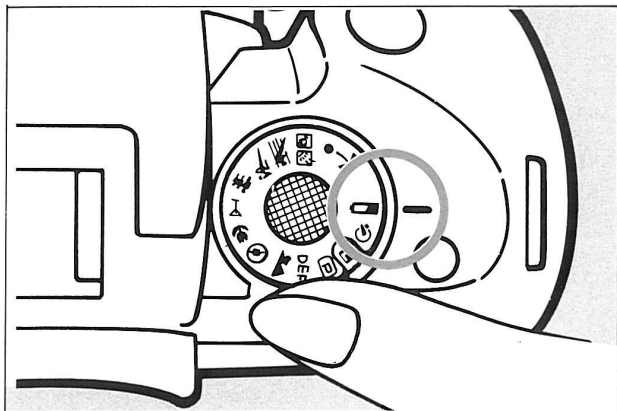
2 図のように、電池室の \oplus \ominus に電池の \oplus \ominus を合わせ、押し込みます。
しっかり固定されるように押し込んでください。





3 図のようにグリップのつめを合わせ、グリップを取り付けます。
グリップ着脱ねじ[Ⓐ]は確実に締めてください。

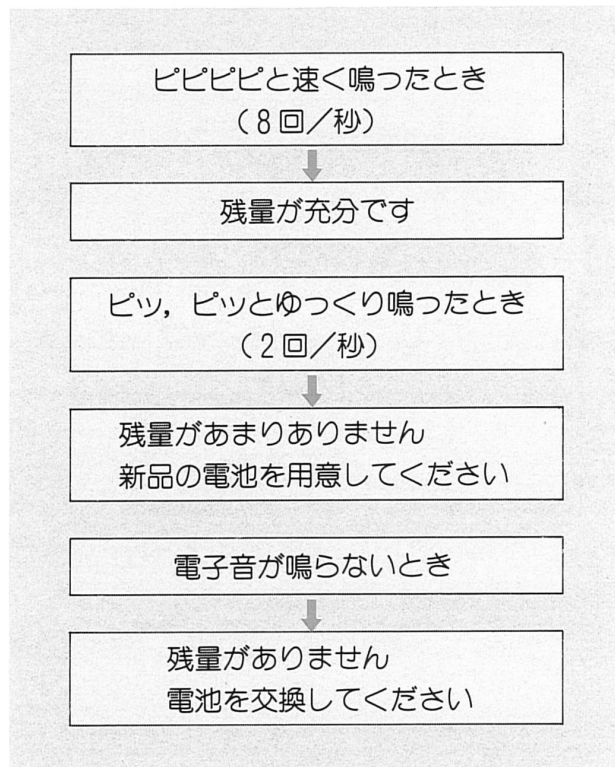
- 旅行に出かけるときや結婚式など多量に写真を撮るときには、忘れずに予備の電池をお持ちください。

電池をチェックします



ご使用前には、必ず電池の残量をチェックしてください。

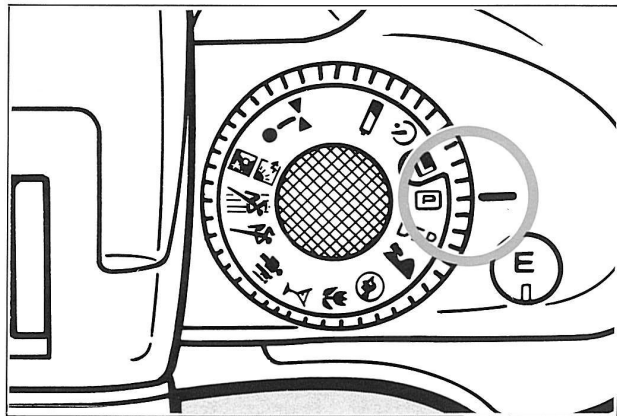
メインダイヤル①を  に合わせ、そのままにします。右表のように音で電池の残量がわかります。チェック後、指を離すと、 (セルフタイマー) の位置に戻ります。



- 1本の新品電池で撮れるフィルムの本数については、P.61 をご覧ください。

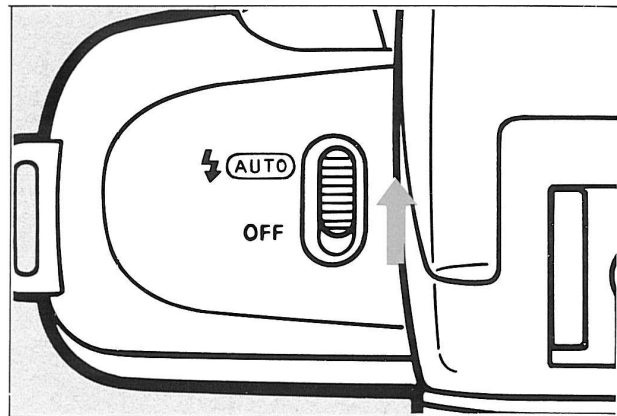
3 カメラに慣れます

基本的な操作は、とても簡単です。次の2点を確認するだけです。



1 メインダイヤル①をP(プログラム)に合わせます。

普通はこの位置にセットします。自動的に適正露出になるようにカメラがシャッター速度と絞りを組み合わせます。
なおLはロック位置です。



2 ストロブスイッチ⑦を⚡(AUTO)にします。
⚡(AUTO)にしておくと、暗いところや逆光のときに自動的にストロボが発光します。

4 カメラを正しく構えましょう

写真を撮るとき、カメラが動く（ブレる）とシャープな写真が撮れません。シャッターボタンを押してもブレないようにしっかりと構えて、ファインダーをのぞいてください。

カメラを手のひらで支えるように持ちます。

カメラを持っている腕は、脇を締めてください。また、両足はそろえず、片足を踏み出すようにします。

ファインダーをのぞくときは、カメラに額をつけるようにしてください。



パワースーム EF35-80mmF4-5.6レンズについて

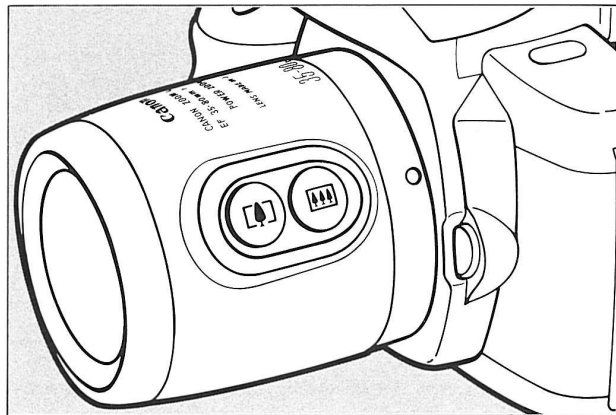
このレンズは、オートフォーカス専用の電動ズームレンズです。

ズーミングボタン⑫

☒ を押すと、テレ（望遠）

☒☒☒ を押すと、ワイド（広角）に

電動でズーミングします。従って撮影位置を変えずに写したいものの大きさを自由に変えることができます。



- 電動ズーミングの電源は、ボディ側から供給されますので、レンズ用の電池は不要です。
- ズーミングの速度は、35-80 mm 間で約 2 秒です。



狭い室内で、後へ下がれないようなとき、戸外で広い範囲を写したいときなどに便利です。(写真は広角35mmの範囲です)



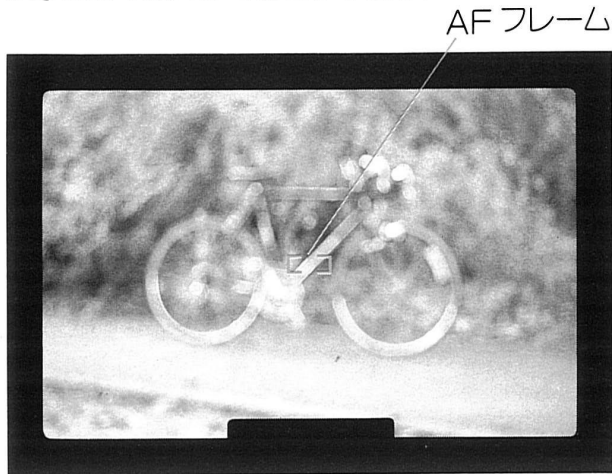
私達が目を動かさないので何気なく見る範囲がほぼ50mmレンズの写す範囲です。(写真は標準50mmの範囲です)



近寄ることのできないものを大きく写すとき、人に気づかれずに離れたところから写したいときなどに望遠にすると便利です。(写真は望遠80mmの範囲です)

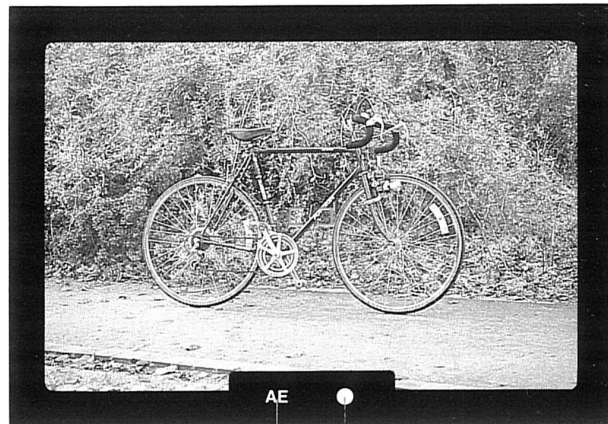
5 シャッターボタンの押し方に慣れましょう

フィルムを入れる前に、シャッターボタン③の押し方をよく練習しておきましょう。



1 ファインダーをのぞいて、AF フレームをピントを合わせたいものに合わせます。

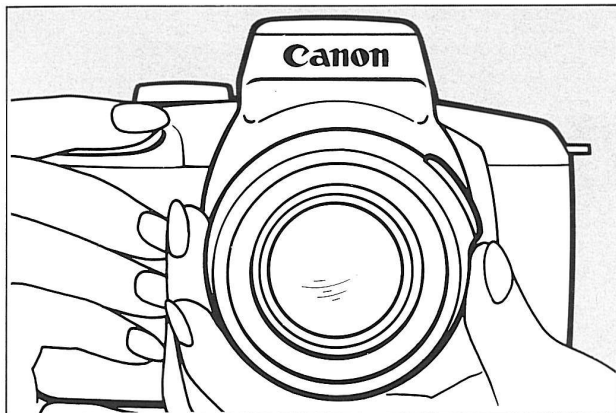
ピントは AF フレームで合わせます。



露出表示 — AE — ● — ピント表示

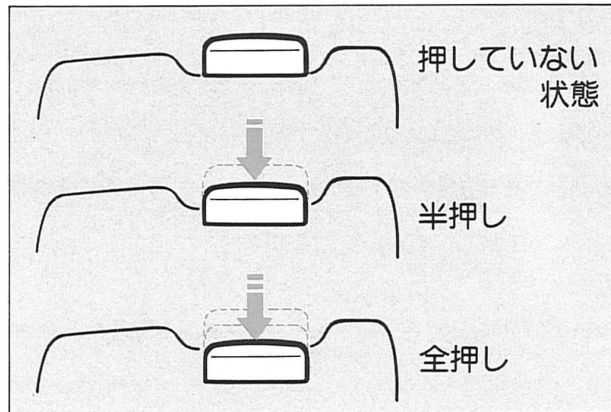
2 シャッターボタン③を軽く押し、半押しのままにします。

ファインダー内に AE マーク（露出表示）と ● マーク（緑マーク/ピント表示）が表示されます。ピントが合うと ● マークが点灯すると同時に、「ピピッ」という電子音がします。半押しのみで、シャッターチャンス等待することもできます。



3 半押しからそのまま指を離さず、シャッターボタン③を静かに押して撮影します。

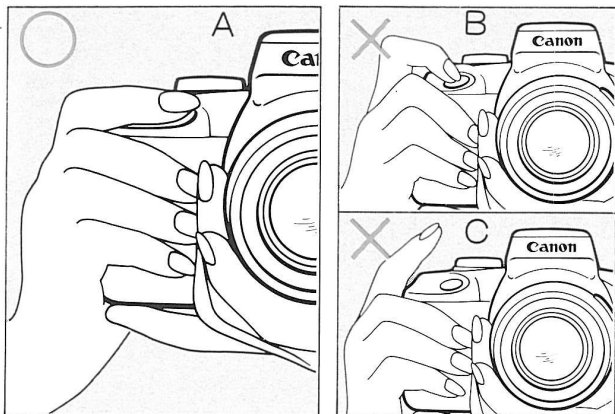
- ピントが合わないときは、●マークが点滅してシャッターが切れません。



- シャッターボタン③は、2 段式になっています。

半押し→ピント（●マーク）と露出（AE マーク）が決まります。

全押し→写真が撮れます。



シャッターボタン③を押すときは、人差し指の腹でゆっくり押してください。（イラスト A）
 指を立てないでください。（イラスト B）
 また、指をシャッターボタン③から離して一気に押すと、（イラスト C）カメラが動きシャープな写真が撮れません。（カメラブレ）

- 繰り返し練習するときは、電池の消耗を少なくするためにストロボスイッチ⑦を OFF にすることをおすすめします。なお、このとき暗いところではファインダー内の AE マークが点滅します。

カメラブレが出た写真



カメラブレなしの写真



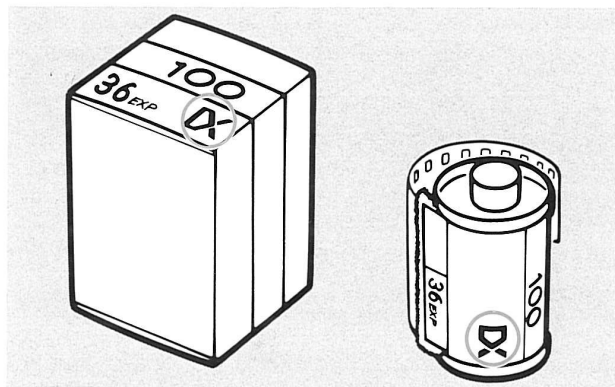
カメラの構え方とシャッターボタン③の押し方で写真がこんなに違います。

上の写真は、シャッターボタン③を押したとき、カメラも動いてしまいました。カメラブレを防ぐには、正しくカメラを構え、シャッターボタン③をゆっくり押してください。（P.11 参照）

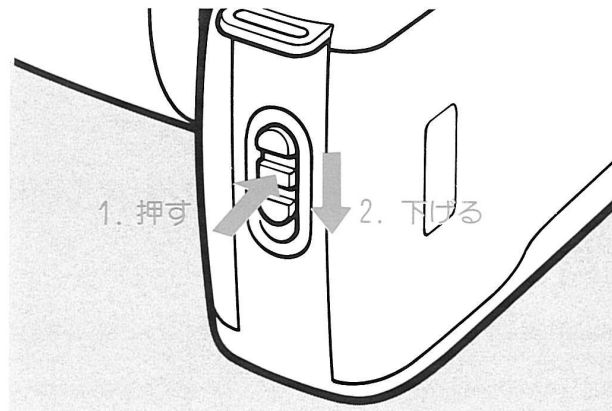
チャンスを生かして撮りましょう

1 フィルムを入れます

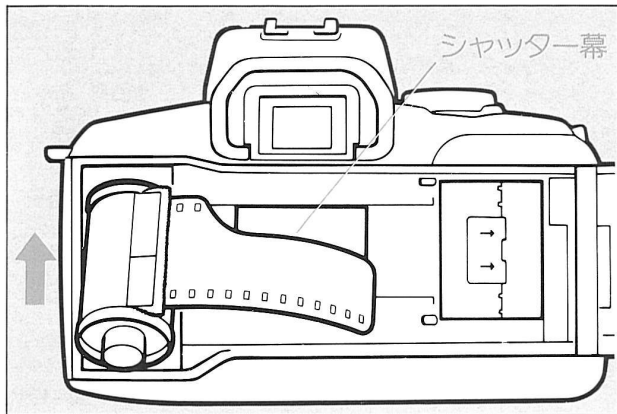
このカメラは、撮れる枚数がひとめでわかるプリwind(Prewind)方式を採用しています。フィルムを入れると最初にフィルムを全部巻き取り、1枚撮るごとに巻き戻します。フィルム枚数計は撮影ごとに1つずつ減り、残りの枚数が表示されます。



- フィルムはDX マーク付きのものをお使いください。
カメラが自動的にフィルムの感度を読み取ってセットします。

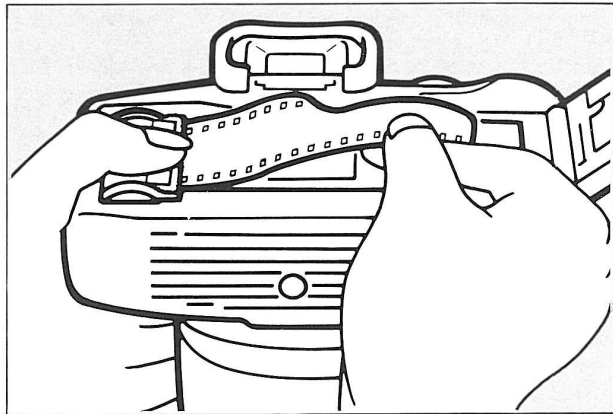


- 1 裏蓋ロック解除ボタン⑩を親指で押しながら、矢印の方向に下げます。
裏蓋が開きます。

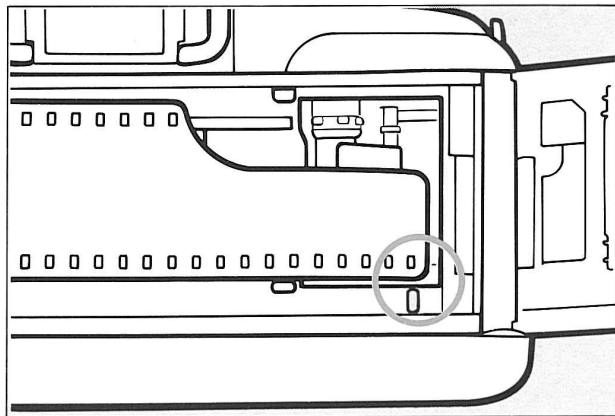


2 フィルムを斜めにしながら入れます。

- シャッター幕には、絶対に手を触れないでください。

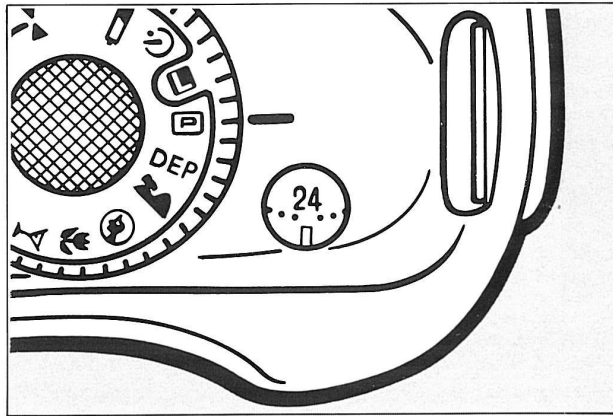


3 次にカメラを倒さないように左手でカメラとパトローネ(フィルム容器)を押さえ、右手でフィルムを引き出します。

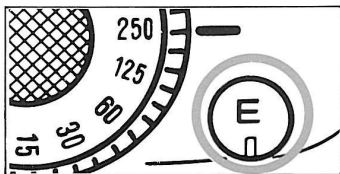


4 フィルムがたるまないようにして、フィルム
の先をオレンジマークに合わせます。

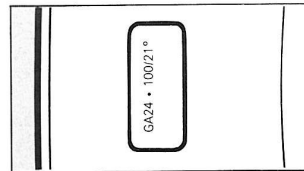
- フィルムを引張りすぎたときは、パトローネに巻き戻して、長さを調節してください。



5 裏蓋を閉じます。
フィルムの巻き取りがはじまり、フィルム枚
数計②の数字が増えていきます。
最後にシャッターが切れるような音がしたあ
と、入れたフィルムの枚数がフィルム枚数計
②に表示されます。これがプリwind方式
です。

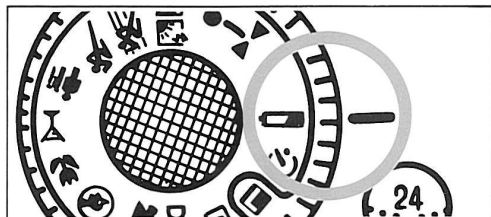


- フィルム枚数計②が「E」のままで、電子音をしたときは、フィルムが正しく入っていません。入れ直してください。
- 裏蓋のフィルム確認窓⑩でフィルムの種類がわかります。

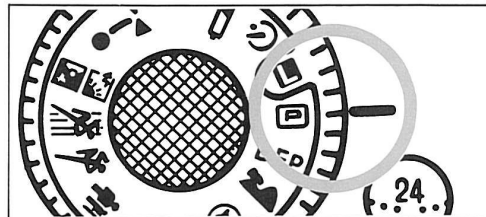


2 撮る前に確認しましょう

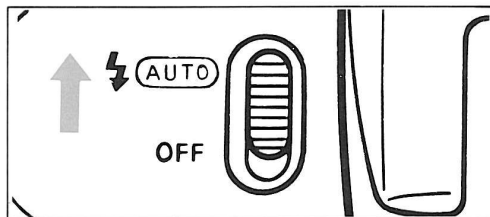
写真を撮るとき、フィルムを入れ忘れた、電池がなくなった……などちょっとしたミスでせっかくのシャッターチャンス逃してしまうことがあります。撮る前には、次の点を確認しましょう。



1 電池は大丈夫ですか？

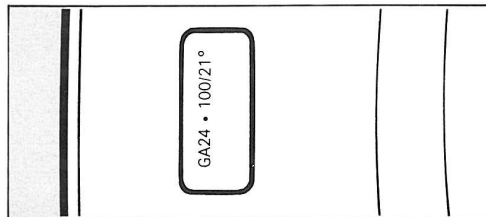


2 メインダイヤル①が□(プログラム) になっていますか？



3 ストロボスイッチ⑦は ⚡(AUTO) になっていますか？

- ストロボスイッチ⑦は通常 ⚡(AUTO) , ストロボを発光させたくない場合のみ OFF にしてください。



4 フィルムは入っていますか？

3 写真を撮ります

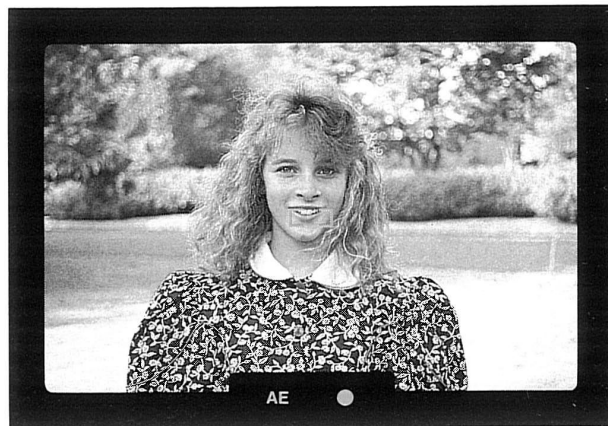
(プログラム撮影)

オートフォーカスで良い写真を撮るには、シャッターボタン③の押し方をマスターしておくことが大切です。

フィルムを入れずにシャッターボタンの押し方を何回も練習しておくこと、いざというときシャッターチャンスを逃さずにすみます。P.14 「5.シャッターボタンの押し方に慣れましょう」で、練習しておきましょう。



1 ファインダーをのぞいて、AF フレームをピントを合わせたいものに合わせます。



2 シャッターボタン③を軽く押し、半押しのままにします。「ピピッ」という音がして、ピントと露出が決まります。また、ファインダー内の●マークと AE マークが点灯します。これで、きれいな写真が撮れるようになりました。

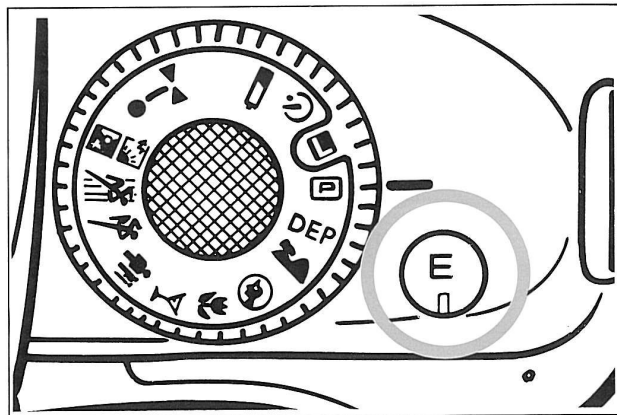
なお指を離すと●マークと AE マークが消えます。暗いところや逆光のときは、自動的にストロボ④が上がります。

■ ●マークや AE マークが点滅したとき（プログラム撮影の時）

	●マークの点滅	AE マークの点滅
ストロボスイッチが ⚡(AUTO) のとき	ピントが合いません。このままでは、シャッターボタンが押せません。明暗差のハッキリしたものに AF フレームを合わせてください。	ストロボスイッチが ⚡(AUTO) 時は点滅しません。
ストロボスイッチが OFF のとき	上と同じです	速く点滅（8回/秒）⇨撮りたいものが明るすぎたり、暗すぎるときです。きれいな写真になりません。明るすぎる場合は ND フィルター、暗すぎる場合はストロボスイッチを ⚡(AUTO) にしてください。 ゆっくり点滅（2回/秒）⇨手ブレが起きやすくなります。ストロボスイッチを ⚡(AUTO) にするか、三脚を使って撮ってください。



3 シャッターボタン③を半押しのまま、撮りたい構図をきめます。



4 シャッターボタン③を押します。
フィルムが巻き取られ、次の撮影ができるようになります。

フィルムが終わると、フィルム枚数計②に「E」が表示されますので、フィルムを取り出してください。

- フィルムを抜かずにそのままシャッターボタン③を押すと、巻き上げ音と電子警告音がします。

オートフォーカスの上手な使い方

…フォーカスロック撮影

シャッターボタン③を半押しのままにすれば、ピントと露出は変わりませんので構図を変えて思いのままに写真が撮れます。これをフォーカスロック撮影といい、次のようにします。

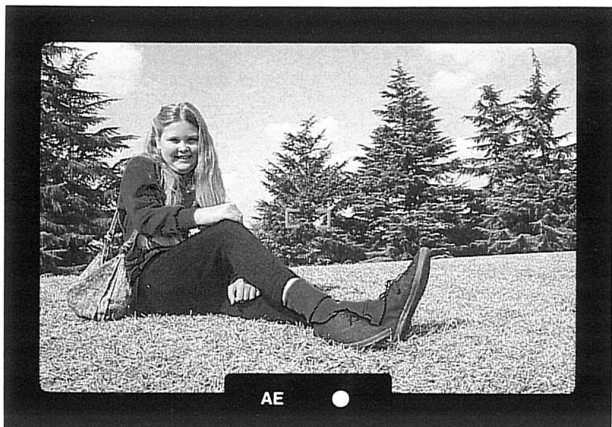
人を画面の端に寄せた写真は



人物を端に入れて撮りたいときは、いったん撮りたい人物に AF フレームを合わせ、シャッターボタン③を半押ししたまま構図を変えて写します。



1 AF フレームを人物に合わせ、シャッターボタン③を半押ししてピントを合わせます。



2 シャッターボタン③を半押しのまま、撮りたい構図にして、そのままシャッターボタン③を押します。

二人を入れた写真は



二人並んだ写真を撮るとき、構図によってはピントを合わせる AF フレームが、人物と合わないことがあります。

このようなときは、いったんどちらかの人物に AF フレームを合わせ、フォーカスロックして写真を撮ります。

オートフォーカスが苦手なもの

ほとんどのものにピント合わせができますが、右の表のような特別なものには、まれにピントが合わないことがあります（ファインダー内の●マークが速く点滅）。

これらを撮るときには、次のいずれかでピント合わせができます。

1 特に（A）のような場合は、撮りたいものと同様距離にあるものでフォーカスロックをして撮影します。

2 特に（B）のような場合は、カメラを縦に構えてフォーカスロックをし、構図を決め直して撮影します。

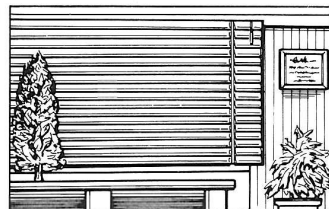
3 パワーズーム EF35-80mmF4-5.6レンズでは、置きピンモードを使用します。（P.41 参照）

	撮りたいもの
AF 測距ができないものまたは誤測距するもの	コントラスト（明暗差）が極端に低いもの …… (A) ブラインドなど縦線のないもの …………… (B) AF フレームの中に遠くと近くのもの共存するとき … (C) 非常に暗いところにあるもの 極端な逆光状態にあり、かつ光の反射が強いもの 高速で移動するなど、安定測距のできないもの

(A)




(B)




(C)



暗いところではストロボが自動発光

…ストロボスイッチ  (AUTO)

一般に暗いところで写真を撮ろうとすると、カメラが不適正露出を表示したり、ストロボが充電中（発光準備中）だったりするために、シャッターチャンス逃してしまうことがあります。しかしEOS700QDはストロボ内蔵で充電時間も短いので、シャッターチャンスを逃さずいつでもきれいな写真が撮れます。ストロボスイッチ⑦を  (AUTO) にしておけば、ストロボ発光が必要とカメラが判断したときは、シャッターボタンを半押ししたときに、自動的に内蔵ストロボが上がり、いつでも撮影できるようになります。




この内蔵ストロボを使うと、シャッターチャンスを逃さないと同時に、手ブレの心配がなく、色鮮やかに撮れます。

ストロボ撮影できれいに写る目安距離 (m)

ISO	EF 35-80 mm f/4-5.6			
	WIDE : 35 mm		TELE : 80 mm	
	ネガ	リバーサル	ネガ	リバーサル
100	0.7~4.3	1~3	0.7~3	1~2.1
400	0.7~8.5	1.5~6	1~6	1.5~4.3

- 内蔵ストロボが飛び出しているときは、絶対に他のストロボを取り付けしないでください。


暗くてカメラが距離を測れないときは、ストロボのAF補助光投光部から光が出て距離を測ります。AF補助光の投光は、ストロボスイッチ⑦を  (AUTO) にしているときです。ただし、AF補助光で測れる距離は、1~4mです。

逆光でもストロボが自動発光

このカメラは評価測光ですので、逆光でもきれいに撮れますが、極端な逆光のときは内蔵ストロボが自動発光して人物が暗くなるのを防ぎ自然な感じにします。

極端な逆光のときでも人物など撮りたいものを小さく入れるとストロボは発光しませんので、撮りたいものを大きく入れてください。たとえば人物ポートレート写真では、上半身をファインダーいっぱいに入れるようにしてください。

- 逆光のとき効果的に撮影できる範囲の目安は約2m以内です。

…ストロボスイッチ  **AUTO**



「ほの暗い感じ」に写すには

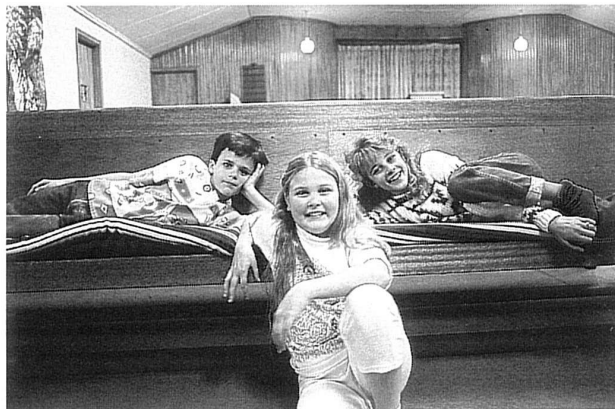
…ストロボスイッチ OFF

夜景などほの暗い場所の感じをそのまま写真に撮りたいときは、内蔵ストロボを自動発光させずに写真を撮ります。

また、「ストロボ撮影お断り」と掲示されたところで撮るときにも、お使いください。

ストロボを自動発光させたくないときは、ストロボスイッチ⑦を OFF に合わせます。なお、ほの暗さを表現するために、ストロボスイッチ⑦を OFF にすると AE マークがゆっくり点滅（2 回/秒）します。

シャッター速度が遅くなりカメラブレがおきやすくなりますので、三脚を使って撮影してください。



4 自分が入っている写真は

…セルフタイマー撮影

セルフタイマーで自分自身が入っている写真を撮るときは、三脚をお使いください。

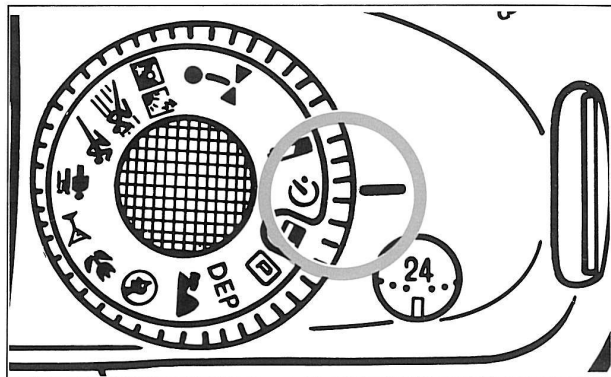
1 メインダイヤル①をセルフタイマーマークに合わせます。

2 次にシャッターボタンを半押ししてピントを合わせ、露出を確認します。

■ 自分ひとりだけが写る場合は、自分が入る位置とほぼ等しい距離にあるものにフォーカスロックをして撮影します。

3 ファインダーをのぞいたままシャッターボタン③を押します。

電子音が鳴り、10秒後にシャッターが切れま
す。



■ セルフタイマーを途中でやめたいときは、メインダイヤル①をセルフタイマー以外のところに合わせてください。

最初ゆっくり（2回/秒）ピッ、ピッ→8秒間

次に速く（8回/秒）ピッピッ→2秒間

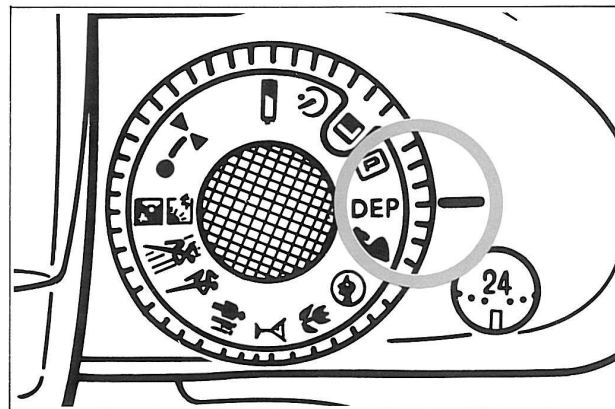
ちょっと上手に撮りましょう

1 はっきり写る範囲を自分で決めて撮るには

…デプス撮影
(DEPTH)

何人かが並んだ写真を撮るとき、どうすれば全員がきれいに写るか迷います。

このようなときは、メインダイヤル①を DEP (デプス)に合わせると、はっきり写るピントの幅を自分で決めて写真を撮ることができます。



- デプス撮影では、はっきり写る範囲を決めるときにシャッターボタン③を2回、構図を決めて写真を撮るときに1回、と計3回押します。
- なお、デプス撮影ではストロボを使うことができません。

1 メインダイヤル①を DEP に合わせます。



2 まず、近い人物に AF フレームを向けてピントを合わせます。

ピピッと電子音が鳴り、●マークがゆっくり点滅します。

ピント合わせのあとは、シャッターボタン③から指を離してください。

- 遠い人物から先に合わせてもかまいません。



3 次に遠い人物に AF フレームを合わせ、シャッターボタン③を押します。

ピピッと電子音が鳴り、●マークが不規則に点滅します。

これで、2人にピント合わせができました。

4 撮りたい構図に変えて、シャッターボタン③を半押しします。AEマークと●マークの点灯を確認して撮影してください。

人の背景をぼかした写真は


- ●マークの速い点滅（4回/秒）は2点間がシャープに写らないことを意味します。しかし AE マークが速い点滅（8回/秒）をしなければ、露出は適正となりますので、撮影してもさしつかえありません。
- 手ブレ警告（AE マークが2回/秒で点滅）が表示されたときは、三脚をお使いください。
- 途中で中止したいときは、メインダイヤル①を **DEP** 以外へ回してください。
- デブス時は、シャッターボタン③から指を離しても、撮影情報は8秒間表示されます。
- ズームレンズ使用時は、1点目のピント合わせをしたあとにズームしないてください。

女性のポートレート写真などでは、背景をぼかすと撮りたい人が浮き上がり、雰囲気の良い写真になります。このような写真を撮るときにもデブスは効果的です。

背景をぼかすには、1点目と2点目とも同じ距離のものにピントを合わせてはつきり写る幅をせまくして撮ります。人の背景をぼかした写真を撮るときには、背景から人物をなるべく離すことです。より効果的に撮るためには望遠レンズの使用をおすすめします。



イメージセレクト（絵文字）による撮影

通常の撮影は、（標準プログラム）で充分撮れますが、イメージセレクトを選ぶと以下のように、今まで撮るのがむずかしかったちよつと良い写真も簡単に撮れます。

写真表現テクニックを大別すると、何種類かに分けることができますが、EOS700QDではこの表現テクニックを8つの絵文字で表現しています。絵文字を選ぶだけで、自分の思ったイメージの写真撮ることができます。



1. 風景

近景から遠景までを鮮明に写すためのモードです。

<ヒント>

パワーズーム35-80mmF4-5.6 レンズの広角端（35mm）を使用すれば、手前から遠景までの奥行き感に加えて、横の広がりも表現できます。



2. ④ポートレート

人物を背景から浮き立たせ、ポートレートをきれいに撮るモードです。人物など主被写体にピントを合わせ、バックをぼかす場合に使用します。

<ヒント>

パワーズーム35-80mmF4-5.6 レンズの望遠端(80mm)を使用することを、お勧めします。より効果的に撮るためには、望遠レンズまたは望遠系のズームレンズをご使用ください。写すときは人物に近寄り、背景は人物からなるべく離すようにして撮影すると効果的です。



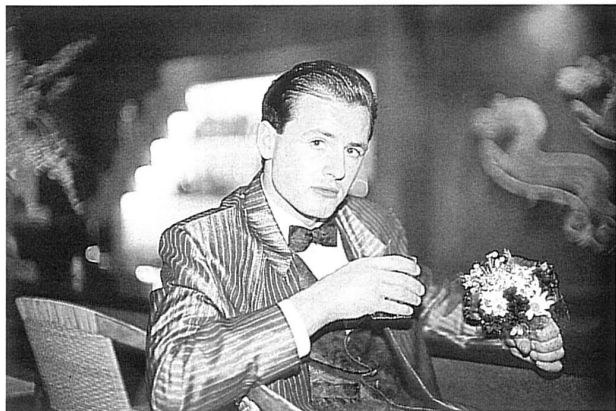
3. ⑤クローズアップ

草花や昆虫などを近づいて大きく撮る場合に使用します。

できるだけ近寄ってみましょう。レンズを通してクローズアップして見ると、ふだん見慣れているなにげない小物が、魅力的に見えてきます。

<ヒント>

パワーズーム35-80mmF4-5.6 は、50cmまで近づけますが、この場合の望遠端(80mm)での最大寸法は 136x203mm、この使用書1ページ分がほぼ画面一杯に写ります。



4. √パーティー

パーティーなど、室内での数人の集合写真やポートレートのスナップ撮影に使用します。



5. ㊦ディープフォーカス

旅行などでめずらしい建物などを背景とした人物の記念写真など、人物も背景もシャープに写したいときに使用します。

<ヒント>

晴れた日にパワースーム35-80mmF4-5.6レンズの広角端を使うと、約1mから無限までシャープに写ります。

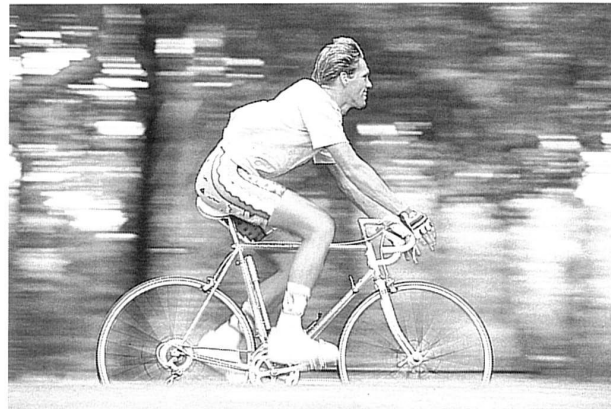
本格的に撮りたい場合は、28mm以下の広角レンズをお使いください。



6. スポーツ

①スポーツ写真②動物写真③運動会での競技の写真など、動いているもののある一瞬を止めて写したい場合に使います。

なるべく速いシャッター速度で切れるようなプログラムとなっています。



7. 流し撮り

動いているものを止め、背景をぶらして動きを表現するときに使います。

ただしシャッター速度は1/30秒固定です。

<ヒント>

動いているものを追いながら、カメラを動かしつつ、シャッターボタン③を押して撮影します。

なお撮影距離とレンズの画角、被写体とカメラの角度、被写体の動きの速度などで一概には言えませんので、何枚か撮ってお試してください。

8. 日中シンクロ／スローシンクロ

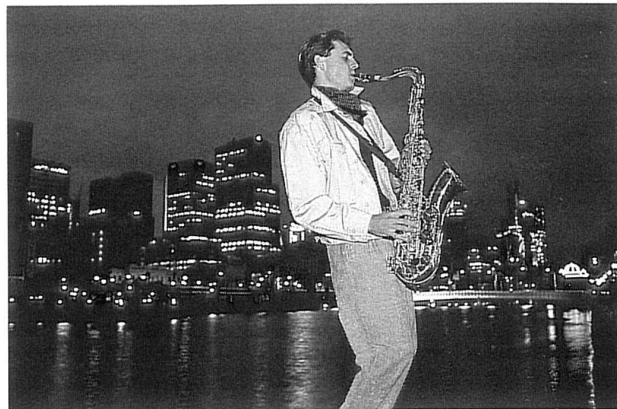
ストロボ強制発光となりますので、昼間の撮影で
じゃまな影を消したり、夜間、人物・背景共きれ
いに写し込みたい場合などに使用します。

<ヒント>

暗いところでは、人物にストロボを当ててきれい
に写し、背景には夕暮れの風景や夜景などを写し
込むようなときに使用します。

また日中シンクロでじゃまな影を消すほか、キャ
ッチライトの入った生き生きした人物写真を撮る
場合にも使用します。

スローシンクロ撮影の場合は、シャッター速度が
遅くなりますので、三脚の使用が必要です。



スローシンクロ

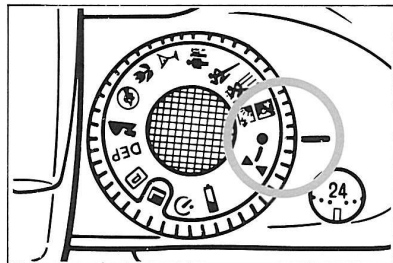


日中シンクロ

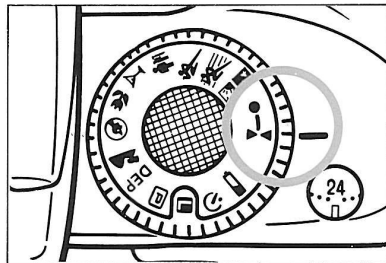
置きピン撮影

ことばどおりに、あらかじめ希望する位置にピントを合わせておき、撮影するモードです。

ピントを固定して何枚も撮る場合に使用します。



1 ●位置で、シャッターボタン③を軽く押し、ピントを合わせます。
ピントを合わせたら、シャッターボタン③から指を離しても構いません。




2 次に図のようにメインダイヤル①を▶◀マークにすると、1で合わせたピント位置にレンズの距離が固定されます。

- パワーズーム EF35-80mmF4-5.6 レンズには手動ピント合わせはついておりませんが、このモードを利用してあらかじめピントを合わせておけば、マニュアルピント合わせと同じ使い方ができます。

メインダイヤルの表裏交換


このカメラのメインダイヤル①は、裏返すことにより、

①  標準プログラム

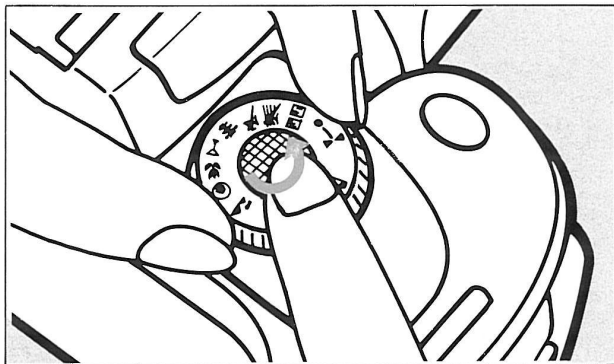
② シャッター優先 AE (1/2000~1/4秒)

③ B (バルブ) (絞り F5.6 固定)

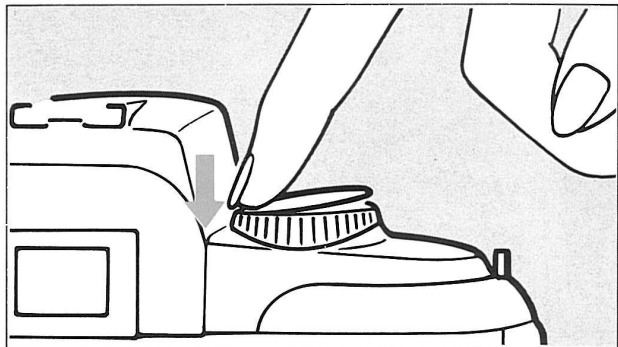
の3つのモードおよびセルフタイマー、バッテリーチェックが使用できます。

また  はロック位置です。

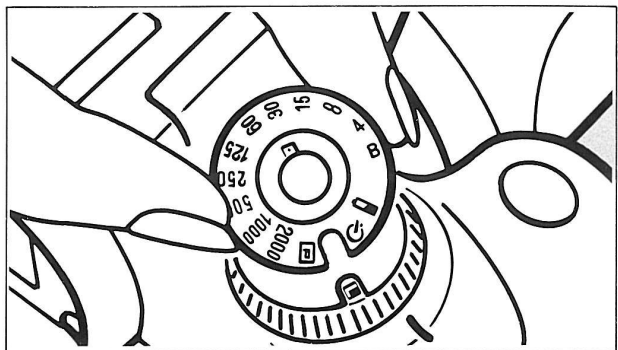
<メインダイヤルの表裏交換の方法>



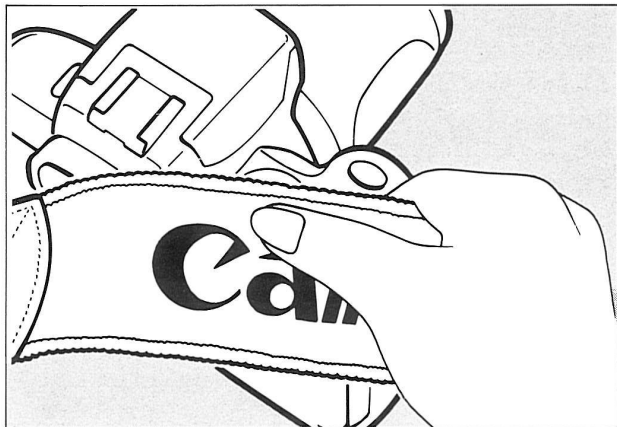
1 図のようにメインダイヤル①の外側を押さえながら、指の腹でダイヤル中央のねじを矢印方向に回してゆるめます。



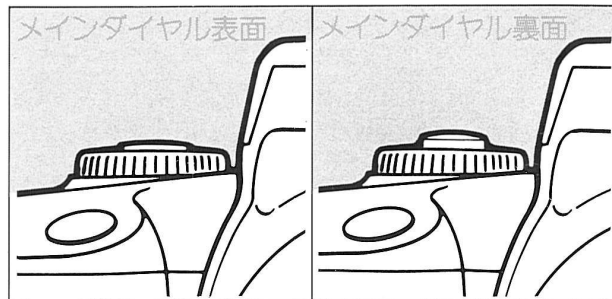
2 図のようにダイヤルの端を押すと、反対側が起き上がるので、ダイヤルを取り外します。



3 次にダイヤルを裏返しにして、ダイヤルの溝を合わせ、逆の要領でねじを締め付けます。



- ねじがゆるみにくい場合は、図のようにストラップの布地の部分を利用してゆるめてください。



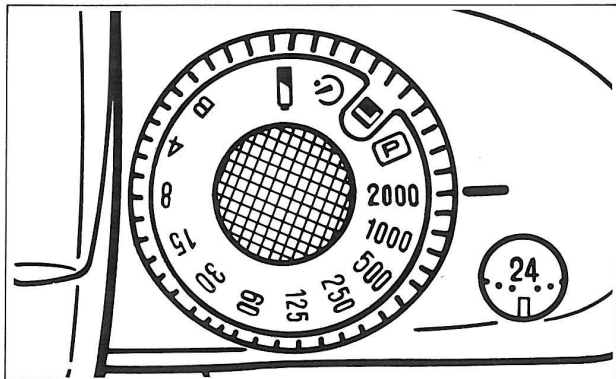
- ねじは表面と裏面では高さが違います。
- ねじがきちんと締められていないと、メインダイヤル①が正しく機能しませんので御注意ください。



シャッター優先 AE

シャッター速度を速くすれば、動くものをシャープに写し止めることができます。

逆にシャッター速度を遅くすれば、動きをぶらして流動感を表現することができます。

シャッター優先 AE では、シャッター速度を自分でセットすると、撮りたいものの明るさに応じて、カメラが自動的に適正露出となる絞り値を選んでくれます。




- シャッター速度優先 AE 時は、ストロボスイッチが  (AUTO) になっていると、必ずストロボが発光してしまいますので、不要なときはスイッチを OFF にして下さい。また  (AUTO) 時は、シャッタースピードは自動的に 1/125 になります。



- メインダイヤル①の数字『125,250 …』は、1/125, 1/250 …秒のことです。
- 露出が適正でない場合は、ファインダー内の AE マークが点滅します。
- 一般に手振れをおこさないシャッター速度は、『1/使用レンズの焦点距離』以上といわれています。ただし慣れてくれば、より遅いシャッター速度でも、手持ちでシャッターが切れるようになります。

BULB（長時間露出）撮影

シャッターボタン③を押している間、シャッターが開いたままとなりますので、花火や車のライトの軌跡、都会の夜景の撮影などにご利用ください。なおバルブ撮影時は、絞りはF5.6固定です。

- 撮影中にわずかでもカメラが動くと写真は台無しとなりますので、三脚を使用するなどしてカメラをしっかり固定してください。
- ストロボスイッチ⑦を  (AUTO) にしておくと、毎回ストロボが発光しますので、ストロボ不要のときは、スイッチをOFFにしてください。



2 写した日を残しておくには

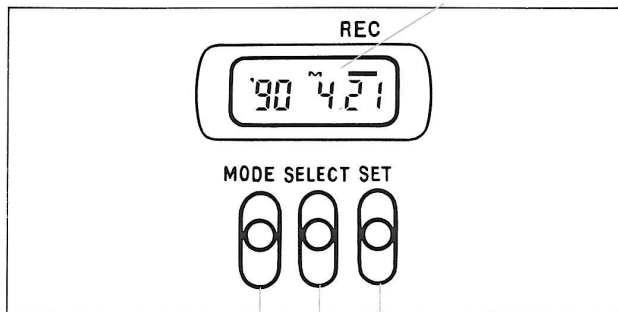
…クォーツデート

EOS700QDにはクォーツデートバックが付いています。

このクォーツデートの時計には、あらかじめ現在の日時がセットされています。2019年までのオートカレンダーが組み込まれていますので、日付をご自分でセットする必要はありません。

日付と時間の確認

クォーツデート
表示パネル



表示切り換えボタン
(MODE)

数値セットボタン
(SET)

修正位置選択ボタン
(SELECT)

- _ は写し込み確認表示でシャッターを切ると点滅して知らせます。また M は<月>を表します。このふたつは写し込まれません。

カメラには、「年月日」が表示されています。そのまま撮影すると写真に日付が入ります。表示切り換え (MODE) ボタン⑭を押すと、写し込まれる表示が次のように変わります。

◇<年・月・日>表示

90 4 21
(1990年 4月 21日)

◇<日・時・分>表示

21 16:48
(21日 16時 48分)

◇<ハイフン>表示 (写し込みなし)

◇<月・日・年>表示

4 2 190
(1990年 4月 21日)

◇<日・月・年>表示

21 4 90
(1990年 4月 21日)

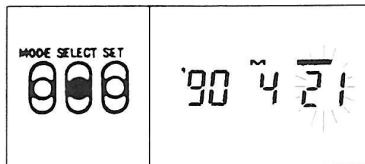
写し込みをしないとき

日付や時間の写し込みをしないときは、表示切り換え (MODE) ボタン⑭を押して、「-----」を表示させます。

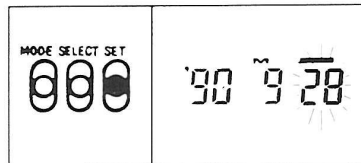
写し込む日付けを変えるには

海外旅行などで日付・時刻を修正するときは次のようにします。

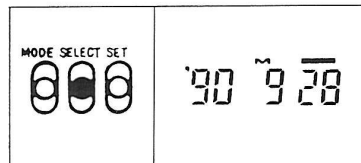
表示切り換え(MODE)ボタン⑭を押して、クォーツデート表示パネルに修正したい<年・月・日>表示(<日・時・分>表示)を出します。



- 1 修正位置選択(SELECT)ボタン⑮を押して、修正したい数字を点滅させます。



- 2 数値セット(SET)ボタン⑯を押して修正します。

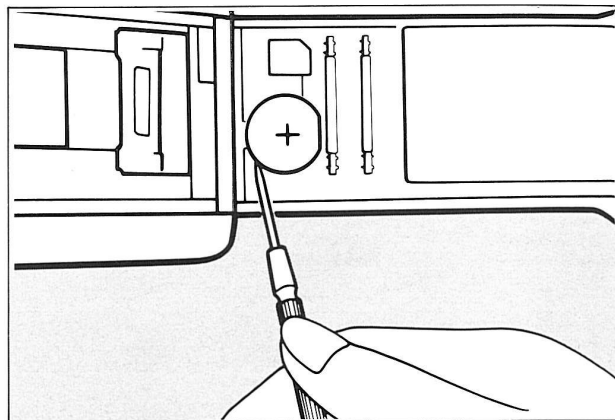
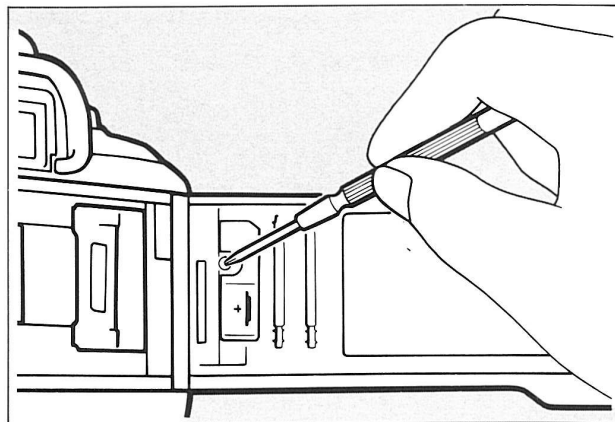


- 3 点滅が止まるまで修正位置選択(SELECT)ボタン⑮を押します。

デート用電池の交換

表示が薄くなったら，取り替えてください。寿命は約3年。デート用電池はボタン型リチウム電池CR2025 3V 1個です。

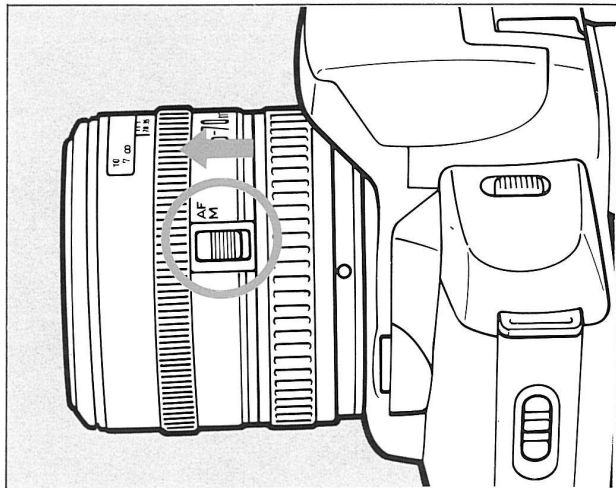
- 1 裏蓋を開け，図のように細いプラスのドライバーでネジをはずし，電池室の蓋を取りはずします。
- 2 電池を取りはずします。
- 3 新しい電池の+を上にして入れ，蓋を取り付けます。
- 4 日付と時間をセットし直します。



3 マニュアルフォーカスのある EF レンズをお使いの場合

(パワーズーム EF35-80mmF4-5.6, EF35-70mmF3.5-4.5A, EF100-200mmF5.6A 以外の EF レンズ)

- 1 通常のオートフォーカス撮影時 (P.22 参照) は、レンズのフォーカスモードスイッチを AF にしてください。
- 2 オートフォーカスが苦手なものを撮る場合 (P.27 参照) は、フォーカスモードスイッチを「M」にして、手動ピント合わせをしてください。
- 3 レンズフードを付けたまま内蔵ストロボを使うと、フードでストロボの光がケラれますので、必ずフードをはずしてください。



4 もっといろいろなチャレンジしたい

…レンズ交換

レンズを変えると、こんな写真が撮れます。

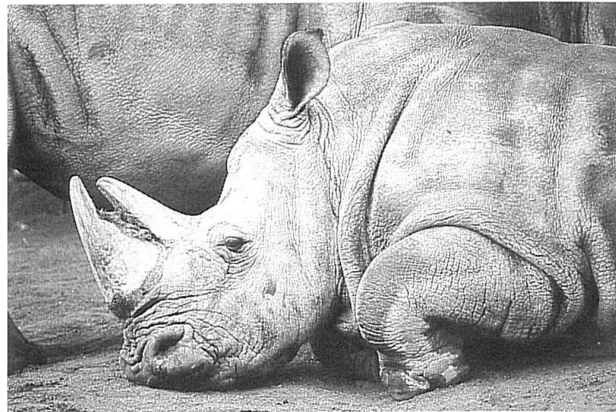
望遠レンズ



AF一眼レフカメラの大きな魅力は、いろいろな種類のレンズを交換して創造的な写真を撮ったり、広い範囲が写せることです。

望遠レンズを使うと、遠くからでも、カメラを意識させないで自然な表情を撮ったり、近寄れない

望遠レンズ



ものを大きく撮ることができます。

広角レンズは、風景のように広い範囲を写したり、遠近感を強く表現することができます。

マクロレンズを使うと、近寄って小さいものを大きく写すことができます。

広角レンズ



マクロレンズ

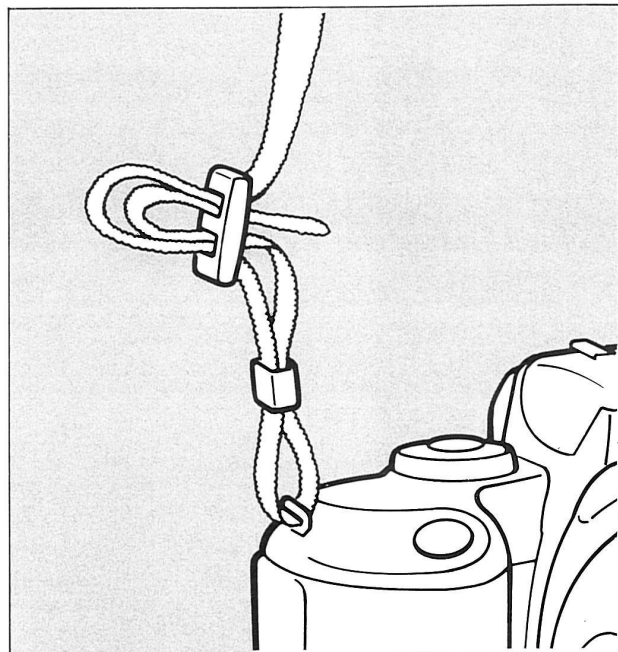


ストラップ(吊りひも), ケース

カメラを持ち歩くときには、付属のストラップ(吊りひも)と別売のケースをご利用ください。

ストラップの取り付け方

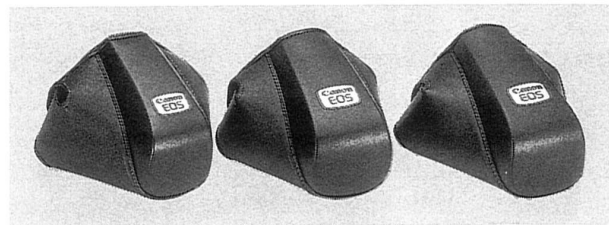
ストラップの先が止め金の内側になるように通してください。



主要アクセサリ

カメラケース

サイズ S	EF50mm F1.8付収納可能
サイズ L	パワーズーム EF35-70mm F3.5-4.5付収納可能
サイズ LL	パワーズーム EF35-80mm F4 -5.6付 EF35-105mm F3.5- 4.5付収納可能



ストロボ

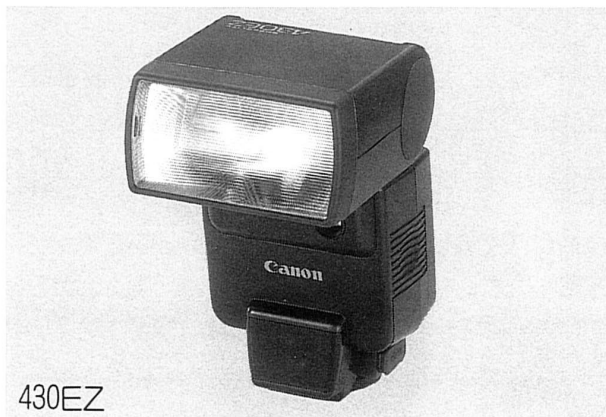
このカメラは内蔵のストロボの他に、より強力なスピードライト430EZ, 300EZ などを使用することができます。

これらのストロボは、光量が強く遠くまで撮影でき、また使用レンズの焦点距離に合わせて、照射範囲を自動調整します。また430EZには、バウンス撮影やストロボの外部電源が使用できるなどの特長があります。

キャノン独自のA(ADVANCED)-TTL方式を採用しておりますので、日中シンク口撮影時にも、撮りたいものと背景の明るさが不自然にならないように自動的に調光します。

ガイドナンバーは430EZが50mm画角時で35 (ISO100・m), 300EZが28 (ISO100・m) です。

- EOS700QD にこれらのストロボを取り付けると内蔵ストロボは発光しません。



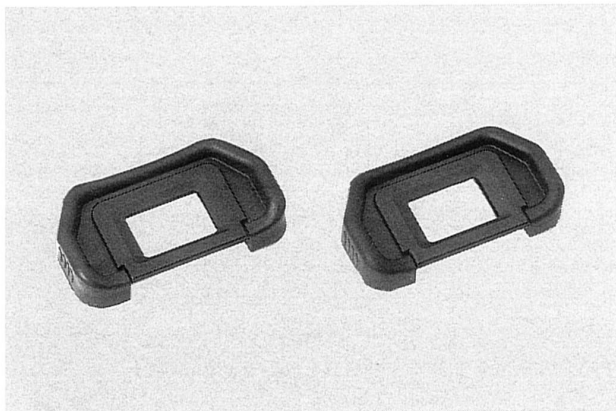
430EZ



300EZ

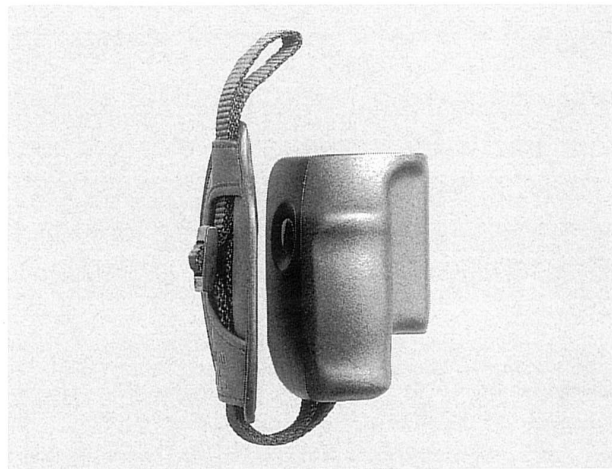
視度補正レンズ

視度補正レンズを取り付けると、近視・遠視の方でも眼鏡なしで撮影することができます。カメラ本体の視度は、-1ジオプターですが、交換用視度補正レンズは10種類あります。実際にカメラに取り付けてのぞいて確かめてから選んでください。視度補正レンズは、視度補正レンズ自身と着脱式のラバーフレーム（アイカップ）からできています。ラバーフレームと視度補正レンズを一緒にお求めください。



グリップ GR50

グリップ GR50は交換用の大型グリップです。カメラに取り付けると、グリップ部が持ちやすくなると同時に、甲当て付きストラップにより、より確実に安定したホールディングが得られます。ボディへの取り付けは、標準グリップを取り外し、GR50を装着するだけです。



こんなときには (Q & A)

フィルムについて

Q：フィルムをすべて撮り終える前に巻き戻すことはできますか？

A：レンズを外した後ボディキャップをして、空撮りをくり返してください。

Q：誤って裏蓋を開けてしまったときは、どうすればいいですか？

A：すぐに裏蓋を閉めてください。裏蓋を開ける前に撮影した1コマは心配ですが、他の撮影済みの部分はフィルムパトローネの中にありますので大丈夫です。なお撮影していない部分は光に当たって使えませんので、最後までシャッターを切って自動巻き戻しを行ってください。(レンズを外すとピントを合わせないで、シャッターを切ることができます。)

撮影について

Q：オートフォーカスで撮った写真がピンボケでした。故障ですか？

A：故障と思う前にまず「オートフォーカスが苦手なもの」(P.27)をご覧ください。ピンボケになった写真を撮ったときの状況と似ていないかどうか確認してください。状況が違っているか、撮影した写真がすべてピンボケになっているときは、故障している可能性がありますので、お近くのサービスステーションにご相談ください。

Q：内蔵ストロボを使ってストロボ撮影をすると、人物の目が赤く写し込まれます。なぜですか？また、どうすれば、人物の目が赤く写し込まれないようにできますか？

A：目の奥にある網膜がストロボの光を正反射するために起こる現象で赤目といわれています。この赤目は、ストロボの位置とレンズが近いほど出やすくなります。

内蔵ストロボを使うときは、人物になるべく近付

いてストロボ撮影すると赤目が出にくくなります。それでも赤目が出るときは、他のEOS用外部ストロボをお使いください。しかし、それでも条件によっては赤目になることがあります。

Q：寒いところで撮影するときは、どんなことに注意すればよいでしょうか？(たとえば、スキー場で)

A：寒さに強いリチウム電池といえども、寒冷地では常温に比べると性能が落ちます。したがって、たくさんの写真を撮るときは、予備電池を用意し、体温で暖めながら交互に使うと良いでしょう。なお、性能が落ちても常温に戻ると回復しますので、捨てないでください。また、寒いところで使ったカメラを暖かい室内に持ち込むと、急激な温度差によってカメラに水滴が付きますので、戸外でビニール袋にカメラを密封したあと室内に入れ、そのまま室内に30分位放置してから取り出してください。

カメラをより深く理解するために


Q：露出とはなんですか？

A：写真を撮るには、フィルムに適切な光を当てなければなりません。この光を当てることを露出といえます。

フィルムに当てる光の量を調整するのは、シャッターと絞りです。シャッターは光の当たる時間（シャッタースピード）を、絞りは光の通る入口の大きさ（絞り値）を調節します。このシャッタースピードと絞り値の組合せで適正露出が決まります。EOSでは、プログラムAEと評価測光によって、最適な露出になるようになっています。

Q：カメラブレとはどうなることですか？

A：カメラブレとは、シャッタースピードが遅いと起こりやすく、写真がブレしてしまうことをいいます。一般的に撮影時のシャッタースピードがレンズの1/焦点距離になると、起きやすくなるといわれています。EOSのプログラムAEでは、このカメラブレになるかどうかを使用レンズに合わせて調べ、カメラブレしそうなときは、AEマークを点滅（2回/秒）させてカメラブレ警告をします。

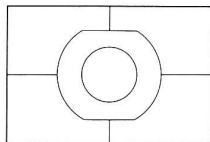
ストロボスイッチを  (AUTO) にしておけば、自動的にストロボが発光し、カメラブレにならずきれいな写真が撮れます。

Q：評価測光とは、どういうことですか？

A：AFカメラはファインダー中央のAFフレームでピント合わせをしますので、撮影するときは撮りたいものが、ファインダー中央にきます。

これらのことからEOSは画面中央のもの（ある程度以上の大きさのもの）が、まわりとの関係から適正な露出になるようにしました。これが、評価測光です。

評価測光は、ファインダーを中央、中間、周辺（周辺は4分割）の6つに分けて光の状態を測ります（測光）。評価測光は、撮りたいもののおおよその状況（撮りたいものの背景、撮りたいもの、光線状態）と同時に大きさもある程度判断して露出を決めるので、撮りたいものが逆光でも適正露出になります。



Q：日中シンクロとはどんなことを言うのですか？

A：ストロボは普通暗いところで使いますが、日中戸外でストロボを使って撮影する方法です。極端な逆光で人物の顔などが暗くつぶれるのを避けるために使います。EOS700QDでは明暗差を感知して内蔵ストロボが自動発光し、人物と背景のバランスをとってきれいに写します。

Q：内蔵ストロボが飛び出ないように押さえつけて撮影するとどうなりますか？

A：そのようなことは絶対に行わないでください。誤ってそのような状態になると、カメラがミラーアップ状態となり、電子音が数秒間鳴り警告します。なお、撮影はされません。ミラーアップ状態は、シャッターボタンを押すと戻ります。

困ったときには

困ったときには、次のことを調べてください。

①カメラが動かない

A1: 電池が消耗していませんか？ バッテリーチャージエックをしてください。

A2: メインダイヤルが **■** (ロック) になっていませんか？ メインダイヤルを **□** (プログラム) にセットしてください。

それでも動かないときは、故障と思われます。お近くのサービスステーションにご相談ください。

②シャッターボタンを押したとき、モーター音のあとピピピピという電子音がする

A1: 撮影済みのフィルムが入っていませんか？ 裏蓋を開けて抜き取ってください。

A2: フィルムが正しくセットされていますか？ もう一度フィルムを正しく入れ直してください。

手入れと保管について

どんなに優れたカメラでも適切な手入れをしなければ、その性能を十分に発揮できません。常に手入れをするように心がけてください。

手入れ用具 (市販品)	ブローブラシ、クリーナー液、クリーニングペーパー、シリコンクロスなど
----------------	------------------------------------

①レンズとファインダー接眼部

ブローブラシで砂やほこりを吹き払い、クリーナー液を含ませたクリーニングペーパーで軽く拭き取ってください。

②カメラのマウントの内側の反射ミラー

ブローブラシで吹き払うだけにしてください。どうしても拭かなければならないときは、最寄りのキャノンサービスステーションにお持ちください。

③フィルム室内

フィルムカスなどが付きやすいので、常にゴミをブローブラシで吹き払うようにしてください。ゴミや砂があると、フィルムを傷つける原因となります。

④レール面や圧着板

汚れたときは、クリーナー液とクリーニングペーパーを使用して拭いてください。

●シャッター幕には絶対に手で触れないようにご注意ください。

●エアボンベタイプのブローの使用はおすすめできません。もし使用する際は、シャッター幕から20cm以上離してお使いください。

ご注意

保管

カメラケースを外し、電池を抜き取って、湿気やほこりのないところに保管してください。また、カメラは長時間使用しないでおくと、カビや故障の原因となることがありますので、ときどきシャッターを切るようにしてください。特に梅雨時にご注意ください。

次のような場所に保管することは避けてください。

- ①車のトランクやリヤウインドーなどは高温になり、故障の原因となることがあるため避けてください。
- ②実験室などのような薬品を扱う場所はサビ・腐食などの原因になるため避けてください。同様にタンスの中なども避けてください。

長期間使用しなかったあとや、海外旅行など大切な撮影の前には、各部の作動を最寄りのキヤノンサービスステーション、またはご自身でチェックしてからご使用ください。

1. リチウム電池について

カメラは電池（リチウム電池/パック2CR5, 6V, 1個）を正しく入れてはじめて作動します。次のようなときは、まずメインダイヤルスイッチをバッテリーチェックマークに合わせ、電池の性能を確認してください。

- ①電池を交換したとき
- ②長時間カメラを使用しなかったとき
- ③シャッターが切れなくなったとき
- ④寒冷地で撮影するとき
- ⑤その他、大切な写真を撮るときなど

- 電池をカメラに入れるときは、電池接点の汚れや指紋などをよく拭き取ってください。そのまま入れると、接触不良や腐食の原因となることがあります。
- 長時間使用しないときは、電池を抜き取って保管してください。
- 電池の分解や充電、高温下での放置、および接点をショートさせたり、火の中に投げ入れることは、危険ですので絶対にしないでください。
- この電池は低温特性にも優れていますが、0℃以下ではやや電池性能が低下します。寒冷地で

フィルム給送本数(電池寿命)

新品のリチウム電池/パック(2CR5)を使ったとき
[パワーズーム EF35-80mmF4-5.6・24枚撮りフィルム使用]

700QD

温度 条件	ストロボ 撮影なし	50%スト ロボ撮影	すべてスト ロボ撮影
常温 (+20°C)	65本	35本	13本
低温 (-10°C)	35本	20本	8本

(注意)・データはすべて当社試験条件によります

ご使用になるときは、予備の電池を用意し、ポケットなどに入れ保温しながら交互に使用することをおすすめします。

●電池に書いてある注意書きもご覧ください。

2. フィルムのX線による感光防止について
フィルムはカメラに入っている、空港でのX線検査による感光は防止されません。フィルムの入ったカメラであることを検査官に伝え、X線の照射を避けてください。

3. 修理について

内蔵ストロボ用高電圧回路が組み込まれていますので、ご自分で分解なさらないでください。修理は必ずキヤノンサービスステーションにお出してください。

4. 専用ストロボを取り付けるとき

内蔵ストロボが飛び出ているときは、絶対に他のストロボを取り付けしないでください。飛び出しているときは、指で押し戻した後、取り付けてください。

主要性能

型式：ワインダー内蔵35mm フォーカルプレーン
シャッター AF/AE 一眼レフカメラ
ストロボ内蔵

画面サイズ：24mm×36mm

使用レンズ：EFレンズ群

レンズマウント：キャノン EF マウント（完全電子制御方式）

ファインダー：ペンタプリズム使用のアイレベル式

視野率：上下左右とも92%

倍率：0.8倍（50mmレンズ付き無限遠）

標準視度：-1ジオプター

フォーカシング：オートフォーカスフレーム付き全面二重スクリーン
レーザーマツトスクリーン

ファインダー情報：①●…オートフォーカス表示

合焦時 ; 点灯

合焦不能時; 8Hz 点滅

DEPTH 時: 合焦 1 回目; 不規則点滅

合焦 2 回目; 不規則点滅

被写体が深度内に収まらないとき; 4Hz 点滅

② AE・・・露出確認表示

露出適正・ストロボ充完時; 点灯

手ブレ警告; 2Hz 点滅

連動範囲外警告; 8Hz 点滅

ストロボ未充完時; 消灯

測光方式：受光素子に6分割SPC使用のTTL開放測光
（絞り込み測光は不可）

露出制御方式：①インテリジェントプログラム AE

<メインダイ ②深度優先 AE（デプス撮影）

ヤル表面> ③撮影モード連動自動セット・8種のプログラム

・風景 ・ポートレート ・クローズアップ
・パーティー ・ディープフォーカス
・スポーツ ・流し撮り ・日中シンクロ/スローシンクロ

④ TTL プログラムストロボ AE

（内蔵ストロボ時）

・逆光検知自動発光

・低輝度自動発光

⑤ A-TTL プログラムストロボ AE（430EZ, 300EZ 使用時）

<メインダイ ①インテリジェントプログラム AE

ヤル裏面> ②シャッター優先 AE（1/2000秒～1/4秒, パルプ）

③ TTL プログラムストロボ AE（内蔵ストロボ使用時）

④ A-TTL プログラムストロボ AE

手ブレ警告：ファインダー内 AE マーク2Hz 点滅。

内蔵ストロボおよび専用ストロボ使用時は警告なし。

測光範囲：EV0～26（50mmF1.4レンズ, ISO100に換算）

使用フィルム感度：ISO25～3200（1段ステップ）で自動セット

NON-DX コードフィルムは ISO25に自動セット

AF 制御方式：TTL-SIR 方式（2次結像位相差検出方式）
合焦時，ファインダー内●マーク点灯。および電子音で告知。合焦音のOFF 不可。合焦不能時，●マーク8Hz 点滅。

AF モード：①ワンショット AE
シャッターボタン 1 段目 ON により AF 作動。測距完了にて停止。測距完了後レリーズ可能。
②マニュアル
フォーカスモードスイッチをMにし，手動フォーカスリングを回すことにより可能。（A タイプは除く）

AF 測距輝度範囲：EV+1～18（ISO100）

AF 補助光：AF 補助光内蔵（ストロボ AUTO 時に機能する），必要に応じて自動投光。

シャッター：縦走りフォーカスプレーン式全速電子制御シャッター

シャッター速度：1/2000～2 秒
X 接点は 1/125 秒

セルフタイマー：電子制御式（時限約10秒）
電子音による作動表示（スタートから 8 秒間2Hz，残り8Hz）

フィルム給送：プリワインド方式。

フィルム装てん：自動。フィルムをセット後裏蓋を閉じると全フィルムを自動給送し停止。（2EX フィルムで約14秒）
失敗時レリーズロックと電子音8Hz で警告。

巻き上げ方式：小型モーターによる連続自動巻き上げ。（ただし，テブス撮影時は 1 枚撮影）

巻き上げ速度：約1.2コマ/秒

内蔵ストロボ：ペンタ部内蔵オートリトラクタブル式 TTL 自動調光ストロボ。並列制御式。

ガイドナンバー：12（ISO100・m）

充電時間：約 2 秒

閃光時間：1ms 以下

照射範囲：焦点距離35mm のレンズをカバー

発光条件：①逆光検知自動発光

②低輝度自動発光

同調シャッタースピード：1/60～1/125秒

調光方式：フィルム面反射測光による TTL 自動調光制御

調光連動範囲：1m～4.3m（ISO100）

充電完了表示：AE マーク点灯。未充電時 AE マーク消灯およびレリーズロック

ストロボ用電源：ボディ本体の電源と共用

フラッシュ接点：アクセサリシュー部に直接接点あり。

フラッシュオート：①内蔵ストロボの TTL プログラムにより、調光絞り値を自動セット。

フィルム面反射測光による TTL 自動調光制御。自動日中シンク口可能。

②430EZ, 300EZ を A-TTL モード使用したときフラッシュ側の近赤外光とカメラ本体の A-TTL プログラムにより、撮影距離、被写体条件に応じて最適な調光絞り値を自動セット。

フィルム面反射測光による TTL 自動調光制御。自動日中シンク口可能。

電源：リチウム電池パック (2CR5, 6V) 1個

バッテリーチェック：バッテリーチェック位置にセットすることにより電子音で表示。

大きさ/重量：700QD：149.3(W)×102.2(H)×71.0(D)mm /615g (除く、リチウム電池2CR5)

パワーズーム EF35-80mmF4-5.6 レンズ

画角：対角線 63° -30°

垂直 38° -17°

水平 54° -25°

構成枚数：7群7枚

最小絞り：22-32

最大撮影倍率：

	35mm 時	80mm 時
撮影倍率	0.08×	0.18×
画界	296×457mm	136×203mm

至近距離：0.5m

フィルター：52mm

ズーミング：電動ズーム ワイドーテレ間約2秒

フード：なし

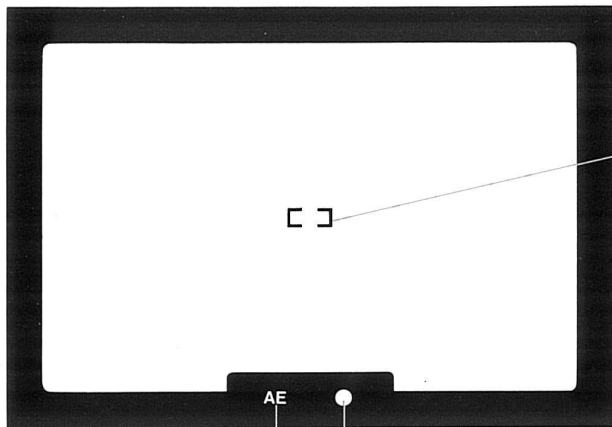
長さ×最大径：72×68mm

重量：205g

ケース：ES-C13/LH-B12

都合により製品の仕様および外観の一部を予告なく変更することがあります。

(データはすべて当社試験条件によります)



① AF フレーム

撮りたいものにこの枠を合わせます。この枠の中にあるものにピントが合います。

② AE マーク

露出が適正かどうかを表示します。シャッターボタンを半押ししたときに表示されます。

③ ●マーク（緑マーク）

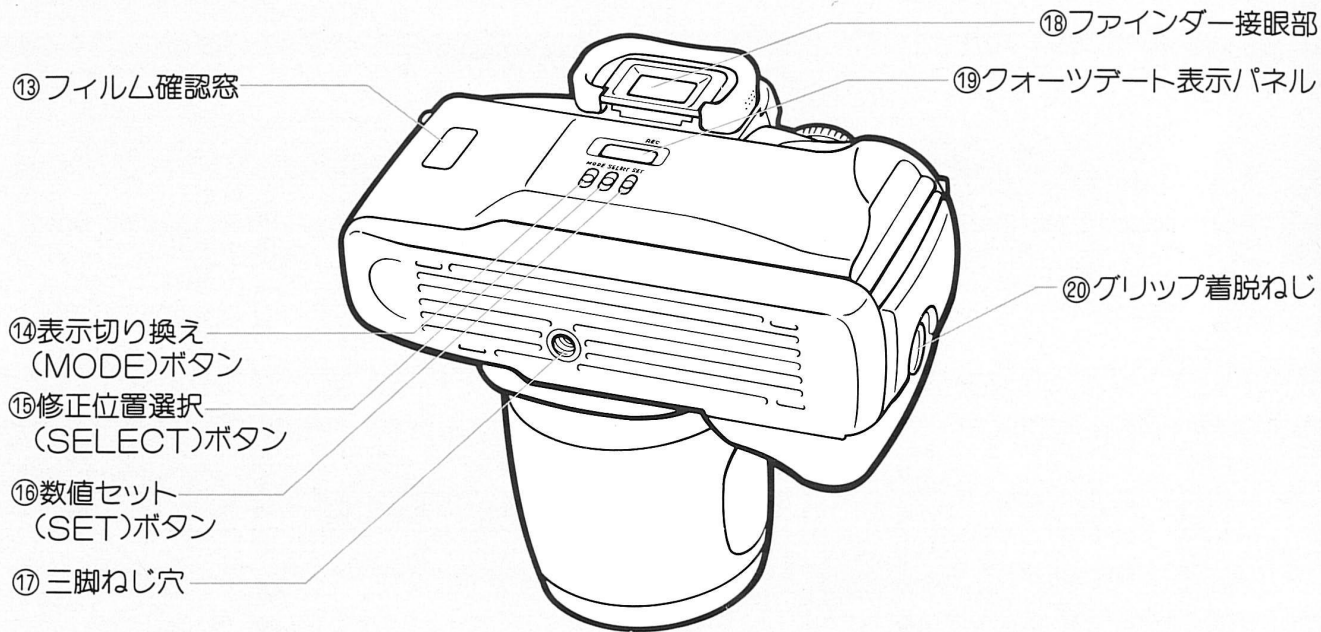
ピントが合ったかどうかを表示します。

アフターサービス

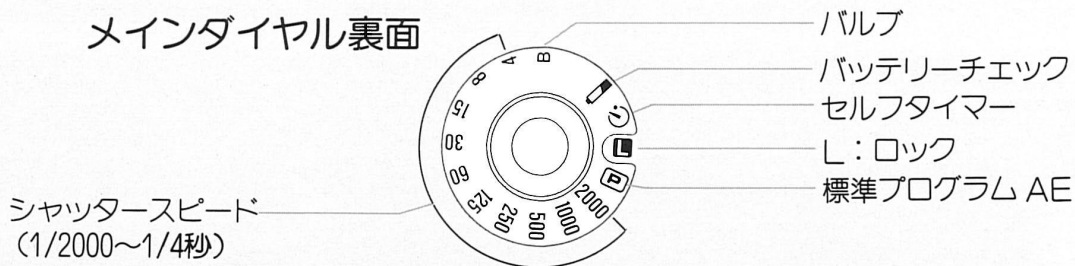
1. 保証期間経過後の修理は原則として有料となります。なお、運賃諸掛りはお客様にてご負担願います。
2. 本製品の補修用性能部品（製品の機能を維持するために不可欠な部品）は、日本国内において、10年間を目安に保有しています。したがって期間中は原則として修理をお受けいたします。なお、故障の原因や内容によっては、期間中でも修理が困難な場合と期間後でも修理が可能な

場合がありますので、その判定につきましてはお買い上げ店または、裏表紙記載の当社サービス期間にお問い合わせください。

3. 修理品をご送付の場合は、見本のフィルムを添付するなど、修理箇所を明確にご指示のうえ、十分な梱包でお送りください。



メインダイヤル裏面



メイン ダイヤル	撮影モード	各機能の組み合わせ内容						
		AF		フィルム送り		測光		
		ワンショット	ワンショット/ AI サーボ 自動切り換え	1コマ撮り	連 続	評 価	部 分	
表 面	① 標準プログラム AE		●	●		●		
	② 深度優先 AE	●		●		●		
	③ 風景	●		●		●		
	④ ボートレート	●			●	●		
	⑤ クローズアップ	●		●			●	
	⑥ パーティー	ストロボ有		●	●		●	
		ストロボ無		●	●		TTL プログラム・自動調光	
	⑦ ティープフォーカス	●		●		中央部重点平均測光		
	⑧ スポーツ		●			●		
	⑨ 流し撮り		●			●		
	⑩ スローシンクロ	●		●		●		
	⑪ 置きピン	●		●		●		
⑫ セルフタイマー	●		●		●			
裏 面	① 標準プログラム AE		●	●		●		
	② シャッター優先 AE		●		●	●		
	③ BULB		●	●		—		
	④ セルフタイマー	●		●		●		



キヤノン株式会社
キヤノン販売株式会社

〒108 東京都港区三田 3-11-28

■カメラ相談室(製品取り扱い方法ご相談窓口)

東京・〒108 東京都港区三田 3-11-28 ☎(03) 455-9353

■サービスセンター(修理サービスご相談窓口)

札幌・〒060 札幌市中央区北三条西 4-1 (第一生命ビル 4階) ☎(011) 241-0460
 仙台・〒980 仙台市青葉区一番町 1-1-30 (やまと生命ビル 2階) ☎(022) 266-9851
 新潟・〒950 新潟市紫竹山 1-10-26 ☎(025) 243-2111
 銀座・〒104 東京都中央区銀座 5-9-9 ☎(03) 573-7834
 新宿・〒163 東京都新宿区西新宿 2-6-1 (住友三角ビル地下1階) ☎(03) 348-4725
 横浜・〒221 横浜市西区北幸 2-6-26 (H I 横浜ビル) ☎(045) 312-0211
 大宮・〒330 大宮市大成町 2-273 ☎(0486) 66-3930
 静岡・〒420 静岡市常磐町 2-13-1 (住友生命静岡常磐町ビル) ☎(0542) 55-2241
 名古屋・〒450 名古屋市中村区名駅 3-21-7 (三交ビル 1階) ☎(052) 563-6822
 金沢・〒921 金沢市玉鉾 2-266 ☎(0762) 91-1215
 京都・〒604 京都市中京区烏丸通二条下ル秋野の町513 (京都第一生命泉屋ビル) ☎(075) 255-5953
 梅田・〒530 大阪市北区中崎西 2-4-12 (梅田センタービル) ☎(06) 373-8181
 中之島・〒530 大阪市北区中之島 3-2-18 (住友中之島ビル 1階) ☎(06) 444-0520
 神戸・〒651 神戸市中央区雲井通り 4-2-2 (神戸いすゞリクルートビル 8階) ☎(078) 291-0535
 広島・〒730 広島市中区大手町 3-9-5 (広島パークビル) ☎(082) 240-6712
 高松・〒760 高松市紺屋町 9-6 (高松大同生命ビル 6階) ☎(0878) 23-4681
 福岡・〒812 福岡市博多区美野島 1-2-1 (キヤノン販売福岡ビル 3階) ☎(092) 411-4173
 沖縄・〒902 沖縄市安里 102 (日本生命安里ビル) ☎(0988) 67-2104

■カメラ技術センター(修理サービスご相談窓口)

東京・〒140 東京都品川区東品川 1-2-5 (東信天王洲ビル 5階) ☎(03) 450-2731

大阪・〒540 大阪市中央区森ノ宮中央 2-5-3 (大阪研修センター 1階) ☎(06) 941-1076

■営業所

大分・〒870 大分市城崎町 1-3-31 (富士火災大分ビル) ☎(0975) 37-4117

■休業のご案内

新宿(第3木曜日) 銀座・梅田(日曜日, 祝日) その他(土・日曜日, 祝日)